

Dance Drill All Star Competition 2014-15

Japan All Star Dance Championship

実施要項

1. **大会名称** Japan All Star Dance Championship / 全日本クラブチームダンス選手権大会
2. **期 日** 2014年11月29日(土) 実施部門: JAZZ, HIP HOP, Songleading/POM, Dance Drill
2015年1月17日(土) 実施部門: SOLO, DUET/TRIO
※出場部門により実施日が異なります。
3. **会 場** 有明コロシアム 東京都江東区有明二丁目2番22号
4. **主 催** NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン
〒102-0083 東京都千代田区麴町2-5-20 押田ビル3F
TEL: 03(3556)6080 FAX: 03(3556)6139
HP: <http://www.dancedrilljapan.com/>
5. **大会参加費** 団体一部門毎、参加者一名につき3,500円。補欠も一名につき3,500円。
SOLO部門参加費は5,000円。
DUET/TRIO部門は参加者一名につき4,000円。

6. 《エントリーについて》

★ 複数部門へのエントリー

エントリー後の増員、メンバー変更は認めない。

一名につき団体二部門までエントリー可。

複数部門出る場合は、重複関係がわかるようエントリーシートに記載すること。

SOLO部門と DUET/TRIO部門の重複エントリー可。

★ エントリー受付

エントリー総数に制限があります。エントリー申込は先着順となります。

団体情報登録シート及び、エントリーシートの受付をもってエントリーとします。

★ エントリー方法

* ホームページからエントリーシートを取得し、入力の上、下記メールアドレスへ送信して下さい。

E-Mail送付先: office@dancedrilljapan.com

★ エントリー期間

2014年10月1日12時より10月31日(金)12時まで(厳守)

SOLO, DUET/TRIO部門は12月1日(月)12時まで(厳守)

上記締切前でもエントリー上限に達した時点でエントリーを締切ます。

★ 参加費振込みについて

* 参加費はエントリー後3日以内に、下記銀行口座に振込んで下さい。

入金確認をもって正式エントリーとします。

* 振込み人の名前は、エントリーした団体名で振り込んで下さい。

* 振込み後の大会参加費は返還致しません。

振込先	三菱東京UFJ銀行 麹町支店 普通預金 口座0108687 口座名義 ミスダンスドリルチーム
-----	---

7. 出場資格及び実施部門

クラブチーム、ダンススタジオ、学外クラブ、地域クラブ、カルチャースクール等
学校団体以外(学校名での出場不可、チーム名での出場は可)の全ての団体及び個人

編成	出場資格	実施部門					
		JAZZ	HIP HOP	Songleading/POM	Dance Drill	DUET TRIO	SOLO
Mini	出場選手全員が 小学校4年生以下	○	○	○	○	○	×
Youth	出場選手全員が 小学校6年生以下	○	○	○	○	○	5、6年生
Junior	出場選手全員が 中学生以下	○	○	○	○	○	中学生
Senior	出場選手全員が 高校生以下	○	○	○	○	○	高校生
Open	年齢による出場 制限なし	○	○	○	○	○	×

※出場編成は年長者の出場選手に合わせる事

※参加数が多い部門は人数によりSmall編成(4名~14名)、Large編成(15名以上)に分ける場合がある。

8. 演技時間と出場人数

JAZZ部門	1分45秒~2分30秒	4名以上
Songleading/POM部門	1分45秒~2分30秒	4名以上
HIP HOP部門	1分45秒~2分30秒	4名以上
Dance Drill部門	1分45秒~2分30秒	4名以上
DUET/TRIO部門	1分00秒~1分30秒	2~3名
SOLO部門	1分00秒~1分30秒	1名

9. 表彰について

★〈部門賞〉

各部門1位から3位を表彰する。

★〈団体総合〉

団体部門全てを通じて最高得点団体をグランドプライズ(1位)として表彰する

10. 演技フロア

- (1) 演技フロアはバスケットコートと同じ縦15m×横28mとする。
会場の状況によって演技フロアのサイズを変更する場合がある。
- (2) 演技フロアの中央に縦のラインを引く。さらにセンターポイントとして横に1mラインを引く。
- (3) 全ての演技は演技フロアの中で行わなければならない。
- (4) 演技フロアの保護のため、出場選手はピンヒール等、床に傷のつく恐れのあるシューズを着用してはならない。また演技に使用するパトン、プロップ等にはゴム等を装着するなど床に傷を付けない工夫をすること。

11. 音源について

音源はCDで提出。録音は音楽CD形式(CDA)、Mp3等データ形式は不可
CDの中には1曲のみ入れること。(2曲以上使用する場合は、必ず1曲に編集しておくこと)
CDは必ずCDデッキ等、異なる複数の機器で再生できることを確認すること。
別紙「大会使用音楽届け出書」に必要事項を入力の上、エントリーと同様のメールアドレスまで提出してください
各種手続きの簡略化の為に、メール添付での提出にご協力ください。

出場に関しての留意事項

日本語以外の歌詞の楽曲を使用する場合は、その歌詞に不適切な言葉がないか、必ず確認をすること。
特にHIP HOPの楽曲には注意すること。

エントリー確認メール受取り後、期日までに下記住所へお送りください。

1演技につき1枚のCD-Rを使用し、盤面、ケースに出場日、団体名、編成、部門を明記して下さい。

提出締め切り 2014年11月17日(月)(SOLO,DUET/TRIOは1月12日)必着

- 送付先 〒102-008 東京都千代田区麴町2-5-20 押田ビル3F
TEL:03-3556-6080
NPOミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン

12. 共通審査項目

フロア全体を使いSHOW UPされた観客を魅了するパフォーマンスとその完成度が要求されます。

【演技内容】

- ・振付が歌詞・リズムに合っている事
- ・曲・振付のつながりがスムーズである事
- ・オリジナリティ・創造性のあるステージング
- ・フロアの有効活用、スピーディーなフォーメーション移動
- ・難度
 - ～Junior 年齢に合った完成度の高いテクニック
 - Senior～ 正確で、高い難度のテクニック

【実施】

- ・正確さ(一致した動き、人と人との間隔が均等であること、など)

【演技者としての自覚】

・観客を楽しませる表情、表現力、アピール

【外見】

・工夫を凝らした美しい衣装(年齢に合ったもの。観客に不快感を与えるものは避けること。)

13. セーフティガイドライン

本協会では、安全に競技を行うために、下記のセーフティガイドラインを設定する。

- A. ピアス、イヤリングは禁止。
- B. ポンポンやプロップを持った状態での演技フロア上での体重をかける技やタンブリングは禁止(ストールなどを含む)。(例外:前転・後転は認められる) 体重をかける技は何も持っていない状態の手で演技フロアに接していること。
全体重を他のメンバーにかける場合も、手に何も持っていない状態で行うこと。
※リフトの上に乗るメンバーが土台のメンバーに全体重をかけてから上に乗る場合も素手で行うこと。
- C. ジャンプ、空中で回転を伴うものについては一人で行うこと。
(バックフリップ、ヘリコプター、人の上から飛び降りる、など)
人の上に乗る場合必ず出場メンバー内で補助をつけること。(肩、背中、手、膝など)
但し、ジャンプの踏み切りから着地まで補助があれば実施可能(リフトとみなす)
※トータッチジャンプをするメンバーの腰を土台のメンバーが支えて実施するのは可能。
空中での回転→たて回転は禁止。横回転は実施可能。

14. ペナルティ

- (1) 7項エントリー資格を有さない者が出場した場合。(失格)
- (2) エントリーした選手以外、または多い人数が出場した場合。(失格)
- (3) 8項が定める演技時間の過不足±5秒以上あった場合は結果より**2点減点**する。
- (4) 10項(3)の内容が守られなかった場合、ポイントでのペナルティが課せられることはないが、悪質な違反と見なされた場合には、失格となることがある。
- (5) 10項(4)演技フロア保護の為の処置がされていない場合(失格および修繕の為の実費請求)
- (6) 13項が定める禁止事項一人一回の実施につき結果より**2点減点**する。

15. 部門毎の審査ポイント

部門	構成	テクニック	実施	ショーマン シップ	全体の印象
JAZZ部門	難度の高いダンステクニックと振付・音楽とが融合した構成	<ul style="list-style-type: none"> ・バレエベーシック ・技術の正確性 ・ボディコントロール 	正確さ (一致した動き)	演技に合った 表情・表現	音楽・衣装・振付・メイクが ダンサーの年齢に合っ ているか
Songleading/POM部門	Pomを生かした視覚的効果のある構成 全員で全体の80%以上Pomを使用する事	<ul style="list-style-type: none"> ・正確でシャープな アームモーション ・Pomを生かしたダンス テクニック 			
HIP HOP部門	音楽と調和した連続性のある構成	<ul style="list-style-type: none"> ・アイソレーション ・ボディコントロール ・リズムの統一感 			
Dance Drill部門	各ジャンルの特徴を生かした、 ショーアップされたオリジナリティのある 構成 設定された部門以外のダンスジャンル であること 例(プロップ/ミリタリー/ メジャーレット /ショートフラッグ/ノヴェルティ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の熟練度 ・正確なダンスベーシック ・ボディコントロール 			
DUET/TRIO部門	各ジャンルの特徴を生かした、難度の 高いダンステクニックと振付・音楽とが 融合した構成	完成度の高いハイレベル な技術を正確に行うこと			
SOLO部門	難度の高いダンステクニックと 振付・ 音楽とが融合した構成	完成度の高いハイレベル な技術を正確に行うこと	スムーズで無駄の ない動きと正確さ	<ul style="list-style-type: none"> ・スタイル ・姿勢 ・品格 	